

1. 開催概要

展覧会名	コートールド美術館展 魅惑の印象派	
開催施設名	会期	入場者数
東京都美術館	2019 年 9 月 10 日～2019 年 12 月 15 日	345,940 人
愛知県美術館	2020 年 1 月 3 日～2020 年 3 月 1 日	83,156 人
神戸市立博物館	開催中止	0 人

●開催概要

ロンドンのコートールド美術館が誇る印象派・ポスト印象派の作品約 60 点を紹介した。マネ最晩年の傑作《フォリー＝ベルジェールのバー》、ルノワール《棧敷席》、さらにイギリス随一のコレクションを誇るセザンヌ、ゴーガンの代表作を展観した。

美術館の創設者サミュエル・コートールド(1876-1947)は 1920 年代に精力的に収集したコレクションを、1932 年にロンドン大学に美術研究所が創設されることが決まると寄贈。研究所はコートールド美術研究所と名付けられ、その展示施設としてコートールド美術館が誕生した。本展では、研究所機関の側面にも注目し、最新の美術史および科学調査研究の成果を紹介することで、来場者の作品鑑賞をさらに深めることができた。

サミュエル・コートールドのコレクターとしての業績も紹介し、展示室壁面には作品を邸内で展示していた写真を演出として用いて、まるでサミュエル自身の邸宅に招かれたような追体験ができる機会となった。

東京では、当初の目標通り約 35 万人が来場した。しかし、年明け以降はコロナ感染拡大に伴う出控えや、緊急事態宣言に伴う神戸会場の中止などが重なり、鑑賞の機会を広げることが困難だった。

2. 美術品補償制度の活用による国民的利益に関する取組結果

① 観覧料の軽減・無料化

新型コロナウイルスの感染蔓延の状況のもと、2020年2月26日に安倍首相から感染拡大防止の目的で大規模イベント等の開催の中止、延期、規模縮小等を要請する声明が発表されたことを受け、3月1日以降の愛知会場の開催が中止となった。

愛知会場に関しては、年明けからコロナウィルスの感染蔓延のニュースが広がるとともに入場者数が伸び悩み、出控えにより当初想定よりも大幅に入場者が減少した。さらに最終日までの2週間という、最も入場者が想定される会期が中止になったため、当初想定の入場者を大きく下回り、入場料の無料化・軽減等による国民への還元が当初予定金額を下回った。

さらに同年4月7日に緊急事態宣言が発令され、5月末まで延長されたことを受け、神戸会場での展覧会の開催が中止となったため、神戸会場では入場料の無料化・軽減等による国民への還元が不可能となった。

神戸で作品を公開する機会を逸したため、入場料の軽減・無料化などによる国民への還元は不可能となったが、展覧会公式サイト上で神戸会場の展示風景を紹介するため、急遽制作した展示映像を無料で配信し、オンライン上での展示鑑賞を可能とした。

【東京】@100円×35万人×有料率72%=2,520万円

【愛知】@100円×8万3,000人×有料率82%=680万円

【神戸】@100円×0人=0円

神戸会場の展示映像制作費 200万円

【3会場合計】3,400万円

【予定軽減金額 5,510万円／実績 3,400万円】

① 展示作品の質・量の充実

展示作品の質・量のさらなる充実をはかるため、コートールド美術館から、さらに印象派およびポスト印象派の質の高い作品「棧敷席」の借用を検討した。検討した作品については、第一回印象派展に出品された記念碑的作品であり、マネ最晩年の傑作「フォーリー=ベルジェールのバー」とならぶコートールド美術館が誇る代表的なコレクションの一つである。この評価額の高い作品の借用の費用について、還元額を借用料に充当することで作品の借用が実現した。

【予定軽減金額 710万円／実績 710万円】

② 教育普及活動の充実

【予定軽減金額 /実績】

本展の開催に合わせて、展覧会での鑑賞を補助する目的で映像を放映することを検討した。このコートールド美術館は、イギリスが世界に誇る印象派・ポスト印象派の殿堂であり、印象派の父マネの最晩年の大作「フォーリー=ベルジェールのバー」や、実は英国随一のセザンヌ、ゴーガン等を所蔵するにもかかわらず、日本では美術館の名前を美術愛好家以外にはほとんど知られていない。さらに、コートールド美術館は、世界有数の研究機関であるコートールド美術研究所の展示施設であり、教育機関としての側面ももつ。コレクションの質の高さと、研究所付属の展示施設

であるという特色を、日本の鑑賞者にわかりやすく解説するため、映像が欠かせないと考えた。また、さらなる充実した映像とするため、上記に加えて、最新の研究結果を踏まえた絵画の「読み解き」をテーマにかかげて、作品解説の映像を4本制作し、(マネ、モネ、ルノワール、スーラ作品の計4点)計5本の映像を放映することを企画し、それら制作費の一部に、還元額を充当することとした。

【予定軽減金額 144 万円／実績 144 万円】

3. 事故の有無(軽微な事故、ヒヤリハット事例も含む)

2020年3月31日(火)、神戸市立博物館展示室内に展示されているポール・ゴーガン「メットの肖像」(大理石)の展示ケース内に「くも」が発見された。4月1日(木)に、修復家、神戸市立博物館、朝日新聞社立ち会いのもと対応した。虫を除去するとともに、巡回の彫刻台の内部やアートソープ入れを開いて内部を確認し、虫の巣・卵らしきものは発見されなかった。アクリルケース内部への進入経路は、アートソープ入れからアクリル内につながっている調湿用の隙間しかないため隙間をふせぐ処置を実施。さらなる防虫対策として、展示室内にトラップを仕掛け、監視強化をし、以降問題は発生しなかった。作品状態にも変化は見られなかった。

コロナ感染拡大に伴い、愛知会場では途中閉幕、神戸会場では開幕することができず開催中止となった。クーリエの往来が制限され、当初予定どおり、イギリスからクーリエが来日することができず、その監督下でのコンディションチェックや梱包、輸送ができない状況となった。さらに、飛行機の減便により輸送便の確保が難しく、当初の国家補償締結期限内に返却が困難な状況となったことを踏まえ、作品のコンディションチェックや、クーリエの随伴方法について文化審議会美術品補償制度部会で審議をされ、国家補償締結期間の延長に伴う手続きが可能となった。当初予定よりも返却日が遅れたが、国家補償でカバーされた状況下での返却が無事に終了した。

4. 安全配慮に関する特別の対応

コロナ感染拡大に伴い、イギリスからのクーリエの来日が不可能であるため、日本人クーリエによる神戸での撤去・梱包およびイギリスまでの作品随行を実施した。一部作品の撤去作業は、Teams 機能を用いてオンラインでイギリスに映像中継し、コートールドスタッフが見守る中で実施した。さらに全作品の写真を日本側で撮影し、コートールド側へ即日共有した。

作品のトラックへの積み込みに関しても、イギリスにオンラインで中継し、作品のトラック内の固定方法など含めて、コートールドスタッフと相談しながら実施した。飛行場の上屋でのパレット搭載に関しても、写真を逐一送付してコートールドと確認を行った。時差はあったが、映像中継することでクーリエは不在であったが、所蔵館のアドバイスを貰いながら作品の安全を確保することができた。

ロンドン到着後に、フライトに問題がなかったことをコートールドスタッフに連絡し、ヒースロー空港の上屋からはコートールドスタッフが作品を引き取ることで返却を完了した。オンラインでの映像中継や携帯電話でのチャット機能、電話などを駆使し、可能な限りコートールドと同時に情報共有して作業を進め、作品の安全性の確保に努めた。

ロンドンでの作品開梱・コンディションチェックは現地在住の保存修復家に、日本側主催者の代理として委託した。作品写真およびコンディションレポートは速やかに共有され、全作品のコンディションに問題がないことを確認した。

5. 紹介事例・今後の改善点等

コロナ禍での海外クーリエの来日がかなわず、かつイギリス入国後の2週間自主隔離が要請されるという状況のなか、特例として日本人クーリエによるイギリスへの入国なしの作品随行を実施した。

オンラインによる撤去、梱包、トラック積み込みなどの実況中継により、先方の美術館スタッフにパソコン上で見守ってもらいながら、作品の安全を最大限配慮することができたと考える。イギリス到着後のコンディションチェックも終了し、全作品を無事に返却することができた。

6. 展覧会の収支決算書

東京会場: 東京都美術館、朝日新聞社、NHK、NHK プロモーション			
主催者名 愛知会場: 愛知県美術館、朝日新聞社、NHK名古屋放送局、NHKプラネット中部			
神戸会場: 神戸市立博物館、朝日新聞社、NHK神戸放送局、NHKプラネット近畿			
(収入)		(支出)	
		単位＝円(税抜)	
内 訳	決算額 (当初予算額)	内 訳	決算額 (当初予算額)
展覧会収入 (入場料、図録、グッズ・協賛金等)	514,000,000 (8 億 8,335 万円)	企画準備等基本経費 (借用料、保険料、輸送費、印刷費等)	523,960,000 (5 億 2,896 万円)
協賛金・主催者負担等	352,200,000 (25,000,000 円)	設営・運営等会場関係経費 (広告宣伝費、展示施工費、警備費、会場使用料等)	342,240,000 (3 億 7,939 万円)
収入総額	866,200,000 (9 億 835 万円)	支出総額	866,200,000 (9 億 835 万円)